

さんくす

阿左美バイパス今夏までに一部4車線化

県道沿いの建物が撤去され、道路拡幅工事が進む阿左美バイパスの進捗状況取材しました。

国道50号の立体交差から、移転する阿左美駅の交差点までの区間に関しては、本年夏頃までに4車線化されるとのことです。その西側については順次進められ、現在の阿左美駅手前の交差点までについては、秋頃までとなっていて、信号付近の渋滞も緩和されると思われます。

この交差点から学び橋の歩道橋の五叉路までの区間については、現時点で用地買収が済んでいないところが有ります。また、阿左美駅移転後に文化財の試掘の必要があります。このほかネックとなるのは東武線をくぐる阿左美アンダー



夏までに4車線化される区間



形状が変わる阿左美アンダー付近

で、現在のボックスカルバート付近でカーブしているものを、直線で北方向に延伸する計画で地権者と交渉をしています。これに時間がかかることから、学び橋付近の五叉路まで4車線化するには2年程度の期間を要するとみられます。

阿左美アンダーの構造は現在と同じで車道と歩道を併設したもので、自転車の通行にも配慮したものとなるようです。

地元住民から強い要望があった歩道橋ですが、県道北側から東武線をまたぎ、線路南につなぎます。その途中で駅へも降りられる構造で設計を進めています。これにより、線路南の東小側に駐車場を設けることが出来ればパーク・アンド・ライドとして新しい阿左美駅の利便性はさらに向上することになります。実現には県とみどり市の連携が必要なようです。

県土木では学び橋付近の五叉路について「五叉路の構造はみどり市で設計している。すり合わせを行っているが、幅員は決まっているので、それに従って粛々と進める」とのこと、具体的な形状は今のところ決まっています。

散歩道（8）笠懸東小学校

昭和40年代の笠懸村は人口が急増していて、それまでの笠懸小学校だけではとても収容しきれないほど児童数が増えた事から、昭和40年代後半に児童生徒急増市町村に指定されたことによります。国が発行する「官報」に記載され笠懸東小学校の建設が決定しました。

学校新設を国が認め、村では国からの財政支援を受けて学校建設に着手しました。建設場所は水田と荒神山を一部切り崩した場所となりました。山の際で水田だった場所だったため山の水が湧いたり、1階の1年生の教室は床下に水がたまって沼のようになったこともあるようです。また、校舎と体育館を結ぶ地下道は湿気が多く水が常に滴り、薄暗いこともあって、まるで鍾乳洞のようでした。その後改修されてすべて解消しました。



開校は昭和51年4月で、同年10月に体育館が、そしてプールが完成するなど、徐々に施設が整備されていきました。東武線をまたぐあざみまなび橋と、競艇場方面などから桐生伊勢崎線を渡るための歩道橋は昭和51年7月の完成。阿左美駅近く地下道も開校後に完成するなど、開校後も学校内外で整備が続けられていきました。今日の笠懸東小学校は地元で親しまれる学校として運営されています。

区長に武井さん、館長は松田さん

平成31年度の行政区区長に武井達夫さん、副区長には赤石太郎さんと副区長(会計)藤生定雄さんが4月1日に就任し、区の運営に動き出しました。

また、地域の活動の要であり、教育施設でもある地区公民館の館長に松田周明さん、副公民館長には藤生吉顕さんと赤石光史さんがそれぞれ就任しました。

武井区長の抱負「区民の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。このたび、笠懸町第三区

の区長の職を預かることとなりました。

新たな令和元年の年を迎え、誠に微力ではございますが、先輩各位ならびに



左から、赤石さん、武井さん、藤生さん

区民の皆様のご支援ご協力を賜りながら、地域コミュニティの活性化を図り、より良い三区となるよう務めてまいりますと考えております。一年間よろしくお願い申し上げます」



左から藤生さん、松田さん、赤石さん

松田館長の抱負「今年度、三区公民館長に就任いたしました松田周明と申します。いつも公民館事

業に対し多大なるご理解とご協力を頂きありがとうございます。若輩者ではございますが、三区のため公民館主事二名と頑張っ

て参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします」 関連記事3面

公民館LED化、総会で

平成30年度の笠懸町第三区総会が3月23日(土)に公民館で開催されました。

水出区長からの1年間の活動へのお礼の挨拶に始まり、平成30年度の事業報告、決算報告と監査報告。公民館、子ども育成会などの会計報告。そして平成31年度事業計画(案)及び予算(案)が承認されました。新役員が紹介され、すべての議案は承認されました。武井新区長からは「各団体力を合わせていきましょう」といった挨拶がありました。

事業計画では、公民館のトヨの改修や室内電灯のLEDが報告されました。このほか、自主防災組織の訓練を行うなどの活発化、区役員の女性への負担が多いなどの意見も出されました。

介護予防教室わかばサロン

平成31年4月3日(水)、午前10時から三区公民館ホールでわかばサロン(社会福祉協議会主催)が開催されました。参加者30名でした。

今年も5回予定で以後6月6日、8月1日、10月3日、12月5日となります。今回は一回目で健康診断から地域包括センターの認知症予防講話、おやつタイム、体操と歌、輪投げゲームを行いました。民生委員、親老会、地域包括役員並びに社会福祉協議会のメンバーの協力でお年寄りの健康を見守るこの企画に、意義を感じました。



健康診断で体調チェック

やよいひめ 誕生物語 (5)

イチゴの師匠からのアドバイス-1

イチゴはたいへん軟らかく傷みやすい果物である。そのため、傷みにくく日持ちの良いことが育種目標の1つとなる。しかし、それだけでは消費者は買ってくれない。やはり、おいしいことが重要なのである。

平成17年に女子栄養大学で有名野菜品種特性研究会が実施したイチゴの食べ比べ評価において、「やよいひめ」が一番おいしいと投票した人がもっとも多かった。



「このイチゴおいしくない」と言われると味覚センスを否定されているようで意気消沈するものである。おいしさに加えて重要なものはやはり見た目である。大きく、美しく、艶があること。大きいことは収穫や出荷作業面でも良い。やよいひめに切替えて、夜までかかったパック詰め作業が、夕方には終わるようになったと喜んでいる生産者もいる。しかし、どんな品種にも欠点は付きものである。続く

写真: やよいひめを使ったカップスイーツ

平成31年度の 行政及び各種団体役員

- * 行政区 区長:武井達夫、副区長:赤石太郎、副区長(会計):藤生定雄
- * 地区公民館 公民館長:松田周明、副公民館長:藤生吉顕・赤石光史
- * 産業区 区長:藤生定雄、副区長:赤石治久、副区長(会計):武井章
- * 母子保健推進委員 代表:安田千秋、桐生陽子・武井登美代・丸本寿美子・森田滋子
- * 親老会 会長:藤生吉雄、副会長:金井一夫・大須武夫
- * 防犯委員 新井茂男・赤石太郎・赤石功
- * 青少年育成推進員 武井幸雄・須藤利晴
- * 地区公民館防火管理者 下山和英
- * 笠懸町交通指導員 赤石勇・渡辺清
- * 交通安全会 支部長:引田康二、副支部長(会計):石毛敬造、副支部長:下山隆司、婦人支部長:磯村美智子、副婦人支部長:長崎早苗
- * 体育協会 支部長:岡田勉、副支部長:藤生大介、赤石知巳・塚本吉昭・植竹晴彦・森田徹・森田徹・今泉健司・須藤秀和・中村正義
- * 福祉部・民生児童委員 福祉部長:森田峯治、福祉部:中村篤美・和泉たか代・下山登美子・赤石礼子・赤石太郎・藤生定雄・藤生定雄・渡邊清・高野千歳、顧問:武井達夫
- * 子ども育成会 会長:江原智子、副会長:富田順子・関利香、砂塚留美子・亀井美由紀・宮崎敏江・岩下美保子・赤石詩織・赤石乃里江・金井しのぶ・大野千安紀・中村悦子・久保田麻美・松島由紀子・赤石綾・久保田照美・中島 芳恵・新井さゆり
- * 八木節愛好会 会長:赤石晋一、副会長:松田周明、顧問:藤生福造・武井道夫
- * かさかけヘルス 部長:赤石和子、会計:赤石君子
- * 安全安心推進委員会 委員長:赤石晋一、副委員長:藤生吉雄、会計:赤石康一、顧問:大須武夫・岩野一
- * サンクス広報委員会 委員長:武井章、編集長:新井栄、武井幸雄・須藤利晴・赤石太郎・植竹晴彦・金子忠司
- * ひまわりコーラス 先生:武井美紀、部長:岩野次代、星野静代・関根迪江・丸本寿美子・久保田イク・武井登美代・藤生恒子・赤石ヨシ子・桐生陽子・下山まち子
- * みずほ会 赤石節子
- * 出荷組合 赤石信之
- * ゴルフ愛好会 小林政雄
- * 消防団第一分団 庭野義之(敬称略)



春の交通安全週間

今年度の春の交通安全週間は、全国統一選挙が4月に実施されるため、5月11日(土)から20日(月)までの10日間実施されることになりました。今年も子どもと高齢者の交通事故防止を運動の基本とし、交通ルールの遵守と正しい交通マナーを習慣づけると共に、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています。

最近は毎日のように悲惨な交通事故のニュースが報道されています。特に5月中下旬は新入学児童の下校時に飛び出し事故が多く発生しています。原因として新入学児童は交通安全の知識や注意力も未熟です。また登下校や遊びなど一人で行動する範囲が広がりためと考えられています。

対策案として家庭でも子どもの目線に立ち、交通ルールとマナーについて親子で話し合い、交通事故に遭わないよう指導する事が大切なのではないでしょうか。写真:国道を渡る子どもたち



陽春の中、はつらつプレー区民ゴルフ

平成31年3月10日(日)、雨の天気予報から一転して、暖かな陽射しの中、恒例の三区区民ゴルフが城山カントリー倶楽部で行われました(写真)。スタートは午前8時47分でした。

参加者23人、新ペリアルルール(ハンデキャップ方式)でそれぞれのプレーを十分楽しんだ一日でした。行政区とゴルフ部主催で企画された行事です。結果は以下のとおり。

優勝 武井久さん、準優勝 森田雅博さん、3位 武井章さん

地域の野菜栽培

三区内の農業は施設園芸栽培が盛んです。旬を迎えた主な冬春野菜について紹介いたします。

トマト: 大玉トマトは県の生産が盛んな重要品目に位置づけられています。区内ではハウス促成栽培(1~7月)と雨よけ栽培(4月~7月)が行われています。12戸が生産に励んでおり主にJA野菜出荷所に搬入し全国各地に出荷しています。

キュウリ: 群馬県のキュウリ生産量は全国2位であり、主な産地は板倉町、館林市、伊勢崎市、桐生市などです。区内ではハウスを利用して、半促成(3月~6月)と抑制(9月~11月)の2作型を組み合わせた栽培が行われています。



ハウレンソウ: 近年では年間をとおして栽培している農家が増えており、群馬県はその生産量全国3位です。区内では7戸が主に雨よけハウスや露地栽培を組合せて、大規模面積の周年栽培が盛んになってきています。

ミニトマト: 手軽に食べられる健康野菜としても知られており、リコピンやβ-カロテン、ビタミンA、Cなど健康に欠かせない栄養素が豊富に含まれています。町内阿左美と前鹿田地区で栽培が盛んで主に初秋から翌年初夏にかけて、周年栽培されています。



なす: 無加温ハウスを利用した半促成栽培(3~7月出荷)と、露地栽培(6~11月)の組み合わせによりより長期にわたり出荷されています。平成28年から群馬県産夏秋なすの出荷量が日本一になりました。



写真: 右上からトマト、キュウリ、なす、左上ハウレンソウ、下ミニトマト

ドッジボール・仲間募集

三区子ども育成会では、ドッジボールに参加してくれる小学生のメンバーを随時募集しています。笠懸町の夏季と秋季球技大会に三区チームとして出場します。低学年の子ども達にとっても楽しい球技大会になっているようです。

◆練習場所: 笠懸東小体育館 ◆毎週土曜日に練習しているので、参加希望者は直接お越しください◆夏季球技大会日程: 6月9日(日)笠懸中学校体育館。

子ども八木節教室参加者募集

5月17日(金)から、三区子ども八木節の練習がはじまります。講師の方々に、お囃子と踊りを教えていただき、三区納涼祭と笠懸まつりで毎年披露しています。練習は小学2年生から参加することができ、学年を超えた交流と八木節を通して文化を知ることが出来ます。多くの方々の参加をお待ちしています。

練習場所: 三区公民館。練習日時: 毎週金曜日。19:00~20:45

さんくす広報委員募集

三区の広報誌として発刊以来5年を超え、本誌で21号となります。

今後さらに号を進めていくためには、広報委員の多様性が求められます。

文章が上手に書けなくてもいいのです。SNSをやっている貴方は、立派なジャーナリストです。興味がある方は是非ご参加下さい。「記事は書けないけど、パソコンなら出来る」または「覚えたい」という人の参加も切に願います。

このほか、区内の風景写真や身の回りの出来事、気になることなどの投稿もお待ちしております。

E-mail sannkusu.kasakake@gmail.com

ちょっとピンぼけ

30年程前、日本語が話せるアメリカ人が通訳として会社に派遣されて来ました。その方は日本人の奥さんと足利市に住んでいました。

仕事の関係で私の職場に来て話をしているうちに、とても明るくユーモアのある人だったので、地元でよく聞いていた方言「ひとつ、よばれてみるか」と「こら一、てんでうんめーや」等の若い人が殆ど使わない方言をメモ紙に書いて教えました。

1ヶ月ほど経ったある日、再び私の職場にやって来

て、「このあいだ近所で集会があった時に全く同じ事を言ってたおじさんがいたよ」と、嬉しそうに報告してくれました。私も調子に乗り、幾つかの方言も教えたことから、とても仲良くなりましたが、その方はアメリカ工場に移動となってしまいました・・・。

それから10数年後の事です、アメリカ工場の人達を引き連れ工場見学で偶然私の職場に来た時、お互い目と目が合い一瞬時が止まり、飛びつき、ハグで固まり涙しました。(須)